

みんなの笑顔も花ひらけ



大井中央公園にて



大井町 議会だより

第2回定例会…………… P2
条例案や補正予算案を可決
一般質問 ここが聞きたい…………… P5
9人が町政を問う！
議会活動報告…………… P10
議場体験ツアー、ざかいCafe

議会を傍聴して…………… P11
町のこの人あの人…………… P12
困っている人がいる限り、続けていきたい

上大井地区
やまざき 山崎 もも子^こさん

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

補正予算を含む 議案22件を可決

第2回定例会
6月9日～11日

会議内容

一般質問	9人
条例	5件
補正予算	4件
人事	2件
契約	3件
ほか	

条例

大井町印鑑条例の一部
を改正する条例

(賛成全員)

*出入国管理及び難民認定法等の一部改正に伴い、所要の改正をするもの

問 施行日が二通りある理由は。

答 特定在留カードに関する改正は国の入管法改正に合わせる必要があるが、電気通信事業法に関わる引用条項の改正については、既

に法が施行されているため交付日からの施行となる。

問 外国人が特定在留カード等を持っていれば、窓口でも印鑑登録証なしで交付を受けられるのか。

答 コンビニ交付は特定在留カード等で行えるが、窓口交付は印鑑登録証が必要。

問 町内で印鑑登録をしている外国人の人数は。

答 現在53名。

大井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び大井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
(賛成11反対1)

*児童福祉法等の一部改正により、満3歳以上限定小規模保育事業に適用されたことに伴い、

改正するもの

問 3歳以上限定小規模保育事業のメリットと、想定されるデメリットは。

答 メリットは、2歳で卒園せずに同じ園に継続して通える点で、デメリットは、元々の利用定員が少ないことや、民間運営による保育の質の担保など。

大井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
(賛成10反対2)

*国の基準改正を鑑み、理学療法士等を1人に限り保育士とみなすことができるようにするなど、所要の改正を行うもの

問 理学療法士等を保育士とみなす改正の趣旨は。

答 保育士確保が困難な状況への対応に加え、

障がいのある子どもに対して専門的な知見を持つ職員を配置すること、保育の専門性を高める。

問 既存の保育士の負担や保育の質の担保は。

答 専門職が保育を行う場合は必ず通常の保育士による支援体制を確保することが義務付けられており、連携して保育にあたる。

問 理学療法士等を雇用した園に対し、国や町からの助成はあるか。

答 給付費等に関わる情報は国から届いていないが、今後の動向を注視する。

大井町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*運営基準に合わせ、利用定員における年齢区分を削除するなど、所要の改正を行うもの

問 利用定員における年齢区分を削除する理由は。

答 年齢別の定員設定を想定していたが、国から年齢別定員を義務付けるものではないと明確化されたため。

問 4月からのこれまでの利用実績は。

答 5月末時点で14件の登録があった。

大井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*政令の一部改正により、その額を改正するもの

問 補償額の算定基準となる補償基礎額とは。

答 被災時の階級や勤続年数によって決まる金額。



補正予算

一般会計(第1号)

(賛成全員)

*主に歳入は、前年度に前倒し計上した補助金の減額やコミュニティ

助成金、消防団員退職

報償金の増額を計上し、

歳出は人事異動に伴う

給与費の増減や、前年

度に前倒し計上した補助

金の減額、物価高騰

に伴う事業費の増額を

計上するもの

問 保育園、幼稚園で

音声翻訳機が必要にな

る外国人の人数は。

答 大井保育園3名、

大井幼稚園1名、大井

第二幼稚園3名である。

問 この時期に音声翻

訳機購入の理由は。

答 今までも園では苦

勞していたが、両親と

もに外国人の方でコ

問 おおいコミュニティ

クラブ建設実施設計委

託料は。

答 34万7千円的地盤

調査であり、地盤の状

況等の調査を行うもの

である。

問 調査による学校生

活への影響は。

答 支障がないように

対応していく。

水道事業会計補正予算

(第1号)

(賛成全員)

*収益的収入は、過年

度損益修正益を計上し、

収益的支出は、漏水減

免による過年度損益修

正損の増額を計上する

もの

問 過年度損益修正益

の経緯は。

答 令和7年度に無断

申請が上がってきたも

のであり、3件の申請

があった。

公共下水道事業会計補

正予算(第1号)

(賛成全員)

*収益的収入は、過年

度損益修正益を計上し、

収益的支出は、漏水減

免による過年度損益修

正損の増額を計上する

もの

問 過年度下水道使用

料還付金等については。

答 水道事業会計での

説明のあった3件分で

ある。

問 過年度下水道使用

料還付金等が今後発生

する可能性は。

答 現状では相談件数

はない。

人 事

人権擁護委員の推薦に

ついて議会の意見を求

めること (賛成全員)

*人権擁護委員3名が

任期満了となるため、

後任候補者を推薦する

もの

久保寺 一男 氏

(再任 根岸上)

山本 香代子 氏

(再任 金手)

関 清江 氏

(新任 馬場)

大井町教育委員会教育

長の任命について同意

を求めること

(賛成全員)

*現教育長の夏莉一壽

氏から辞職の申し出が

あったため、後任とし

て野地崇氏を任命する

もの

野地 崇 氏

(新任 市場)

工事請負契約の締結

大井町総合体育館床等

改修工事の請負契約

(賛成全員)

*一般競争入札の結果、

契約を締結するもの

問 資材不足や物価高

騰による影響は。

答 現時点では対応可

能だが、入手困難な状

況が生じた場合は、そ

の都度協議する。

大井町生涯学習セン

ター舞台照明更新工事

の請負契約(賛成全員)

*随意契約により見積

書を徴取し、予定価格

の範囲内であったため、

契約を締結するもの

物品購入契約の締結

職員用パソコン購入の

契約 (賛成全員)

*随意契約により見積

書を徴取し、予定価格

の範囲内であったため、

購入契約を締結するも

の

なるか。

答 職員が使っている

パソコンは、全150

台である。今回、その

うちの49台の購入であ

る。

問 スペックは十分か。

答 クラウド業務が中

心のため、標準スペッ

クで十分。

問 もう少し金額が安

価にならなかったのか。

答 庁舎内のネット

ワークや動作調整も含

んでいるため、妥当な

金額である。

問 更新した古いパソ

コンの廃棄処分は含ま

れているか。

答 含まれていない。

別途予算を確保して適

正に処分するか、まだ

使えるものは持ち出し



第2回臨時会・第2回定例会

第2回臨時会

4月20日

会議内容

専決処分 1件

工事請負契約 1件

専決処分

大井町税条例の一部を
改正する条例
(賛成全員)

＊地方税法等の改正に伴い、軽自動車税の環境性能割を廃止し、種別割に一本化するもの

問 環境性能割の廃止による町税収入への影響と、その補填は。

答 令和8年度予算で320万円を計上していた。その12分の10が減収となるが、国からの減収補填措置があるため、実質的な影響はないと認識している。

工事請負契約

総合体育館第1期改修
工事の契約金額の変更
(賛成全員)

＊契約金額から、190万800円を減額とするもの

問 金額の増減の内訳は。
答 交通誘導員の減で約241万円の減額。

一方で、トイレのタイ
ル張り替えに約28万円、
3階の巾木補修に約23
万円の増額が生じ、差
し引きで約190万円
の減額となった。

問 報道等で塗料など
の出荷停止が伝えられ
ているが、今後の工期
への影響は。

答 防水工事に使用す
る材料の一时的な出荷
停止は確認している。
現時点では6月分まで
の材料は確保できてい
ると聞いており、今後
の動向を注視しながら
適切に対応していく。

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対 欠は欠席した議員
伊藤奈穂子議長は、採決に加わりません。

臨時会の別	議案番号	議案名	議員名（議席順） と審議結果	笠井 裕太	諸星 光浩	鈴木 武夫	大石 舞	黒岩 陣太郎	重田 有紀	和田 紀昭	山崎 真弘	岡田 幸二	鈴木 磯美	牧野 一仁	清水 亜樹	審議結果
第2回臨時会	25	専決処分の承認について (大井町税条例の一部を改正する条例)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	26	工事請負契約の変更について (総合体育館第1期改修工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2回定例会	27	大井町印鑑条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	28	大井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び大井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	29	大井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	30	大井町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	31	大井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	32	令和8年度大井町一般会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	33	令和8年度大井町介護保険特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	34	令和8年度大井町水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	35	令和8年度大井町公共下水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	36	人権擁護委員の推薦について議会の意見を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	37	工事請負契約の締結について (令和8年度大井町総合体育館床等改修工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	38	工事請負契約の締結について (令和8年度大井町生涯学習センター舞台照明更新工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	39	物品購入契約の締結について (令和8年度職員用パソコン購入)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	40	大井町教育委員会教育長の任命について 同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

議会の映像配信 はじめました。



町民の皆様にとって「より身近な議会」となることを目指し、一般質問における映像配信をはじめました。配信は、テレビ（湘南ケーブルネットワーク※1）とWebサイト（※2）の両方のプラットフォームとなります。

※1 湘南ケーブルネットワークは、別途加入が必要です。既に参加済みの方は、電子番組表（EPG）でご確認ください。

※2 大井町議会のホームページから（外部リンク先URL <https://oimachigikai.com/>）ご覧いただけます。なお、本会議終了後から、1週間程度で配信します。

一般質問

9人が町政を問う！

問 運営において重視してきた基本姿勢は。
町長 「現場主義」と「協働」。机上の議論では本質が見えないことも多く、地域へ足を運び、皆様の声を伺うことを大事にしてきた。

問 公約の進捗状況は。
町長 子育て支援・教育・防災・福祉・観光・DX推進などの取組を進めてきた。給食費無償化や高齢者見守り、ひょうたんを活用した地域振興などで成果があった一方、多世代交流施設や紙おむつリサイクル、福祉避難所、女性消防団などの課題が残っており、実現に向けて検討を進める。

問 子育て支援施策についての自己評価は。
町長 認定こども園整備や居場所づくり、給食費無償化など、一定の成果を上げてきた。

問 町民からの評価や期待について、自身の受け止めは。
町長 全ての期待に完璧に答えられたいとは思っていないが、「町民の声から逃げない」姿勢を貫いてきた。



かさい ゆうた 議員
笠井 裕太

A 限られた財源と人材を有効に活用し、持続可能で住み続けたい町づくりを進める

Q 残された任期における課題と優先すべき重点施策の方向性は



「住み続けたい」大井町の実現へ



くろいわ じん たちろう 議員
黒岩 陣太郎

Q

放課後児童健全育成の推進は

A

安心して利用出来るよう
運営に努める

問 保護者との情報共有は。

町長 学童業務支援アプリを活用し、保護者からの欠席連絡、児童の入退室管理、保護者

問 道徳教育の実施状況は。

町長 職員は日ごろから児童一人ひとりの表情や言動を丁寧に見守り、普段と異なる様子が見られる場合には、いつも以上に児童に気づかいや見守り、必要に応じて職員間で情報共有や指導方針を確認し、継続的な見守りや適切な対応を行っている。

教育長 教育委員会で各学校が作成している年間指導計画書とともに、具体的な内容項目が偏りなく扱われているか、授業の中で児童生徒が考え議論し、自己を振り返る活動が適切に行われているかを中心に把握している。

りは、町からの通知、その回答、電子回覧板やアンケート、自治会長からの問い合わせ機能など、時間と場所を選ばずにスマートフォン上で確認でき、自治会員はバックナンバーを含め、いつでも資料を閲覧することが可能になる。



一人ひとりの個性を大切に学童保育

町長 職員は日ごろから児童一人ひとりの表情や言動を丁寧に見守り、普段と異なる様子が見られる場合には、いつも以上に児童に気づかいや見守り、必要に応じて職員間で情報共有や指導方針を確認し、継続的な見守りや適切な対応を行っている。

自治会活動の支援は
問 自治会アプリの具体的な活用は。
町長 役員の負担軽減策として導入するアプリは、町からの通知、その回答、電子回覧板やアンケート、自治会長からの問い合わせ機能など、時間と場所を選ばずにスマートフォン上で確認でき、自治会員はバックナンバーを含め、いつでも資料を閲覧することが可能になる。



おかだ こうじ 議員
岡田 幸二

Q

高齢化の進行による
移動手段の確保は

A

現在の町バス利用の他、
可能な移動支援のあり方を
検討していく

問 町民の約3人に1人は65歳以上であり、フレイル予防のために

町長 高齢者の社会参加や介護予防・孤立防止の観点から外出支援は重要と考えている。町バスの利用をはじめ、支援のあり方は今後、改善を検討していく。

町内での美化について
問 昨年の町長ふれあいミーティングで相和地区の窮状を訴える声があったが。

町長 傾斜地が多く危険箇所も把握している。高齢化により状況も厳しくなっているが、今後はガイドラインを作成、共有していきたい。

自治会加入率も減少する中、自治会主体の美化運動推進及び助成制度を見直す考えは
課長 各地域の実情、課題を把握した上で、見直しを検討していく。

町長 良い提案と思う。町民が前向きに取り組めるよう模索したい。

課長 現在が最終形ではなく、さまざまな意見聞き最善のあり方を展開していきたい。

問 上大井駅舎の修復後の維持管理も含め、



ラッピングされた環境にも優しいおおいEVゆめバス



しみず あき 議員
清水 亜樹

Q 富士山・箱根山噴火時の被害想定は

A 降灰による影響が大きく
最悪の場合は溶岩流到達も
想定している

【問】 富士山・箱根山が噴火した場合の本町の被害想定は。

【町長】 富士山は降灰による影響が大きく、最悪の場合溶岩流の到達、箱根山は降灰や火山ガスの影響が想定される。

【問】 降灰はどの程度想定しているか。

【課長】 最大50cmの降灰を想定し、30cm以上で避難準備を呼びかける。

【問】 町民にわかりやすい避難行動基準の作成は。

【課長】 今後町民に分かりやすい目安を検討する。

【課長】 現在分析はしていないが、今後情報収集と検討を進める。

【孤独・孤立対策】

【問】 地域のつながり実態把握調査の結果をどう受け止め、今後どう取り組むのか。

【課長】 高齢者施策の基礎資料として有効と受け止め、見守りや交流の仕組みづくり、居場所づくりなどを関係団体と連携して進めていく。

【問】 外出頻度が少ない方ほど孤独・孤立感を感じる傾向にある。外出しやすい環境として可能な場所にベンチを設置する考えは。

【課長】 今後町民に分かりやすい目安を検討する。



大井町から望む美しい富士山



おおいし まい 議員
大石 舞

Q 町立認定こども園計画について、施政方針に基づいた今後の進め方は

A 在園児保護者、町民の皆様、現場の職員の声を
確認しながら進める

【問】 こども園の開園時期について町民や保護者から署名等の動きがあった。町民との協働の取組みにするための町長の考えは。

【町長】 今でも悩んでいる。最終的に決める時は、自分の政治生命をかけて決断したい。

【問】 町長は、何を優先して決めなければいけないと考えるのか。

【町長】 子どもたちの未来だと思っている。

【町立三小学校のあり方について】

【問】 町内三小学校のあり方が話題になると、必ず相和小をどうするかとなる。それ以外の選択肢はあるのか。

【教育長】 相和小に限らず、大井小や上大井小も児童数等の状況を見て考えていかなければいけない。

【問】 学校のあり方が議論される際に児童数等に重点が置かれ、児童の教育条件の改善や教育の中身の議論が十分ではない。多面的な議論が必要では。

【教育長】 児童数は指標として当然あるべきものである。現状は毎年学校訪問等を行い十分に把握している。

【問】 相和小に帰りのバスを用意する考えは。



イメージ

子どもたちの未来とは

【課長】 保護者の責任で行う旨ご理解頂きたい。

【問】 大井町への移住をPRする際に、相和小をアピールしては。

【課長】 調査研究したい。今までも移住に繋がったケースがある。



鈴木 磯美 議員

Q 公共施設用地に係る
借地の現状は

A 用地のすべて、又は一部が
借地の公共施設は24施設

問 生活基盤施設を除いた公共施設の借地の現状は。

町長 全体で24施設、地権者は延べ55名で令和7年度の借地料の総額は2126万9千円である。

問 公共施設用地を取得又は返還する計画は。

町長 取得する計画は無い。その施設の将来的な展望や交渉のタイミングを踏まえ判断する。返還については、「公共サービス・公共施設の統廃合に向けた基本方針」を踏まえ資産の適正化を図る。

問 町が保有する低未利用地の活用や処分に向けた方針は。

町長 旧相和幼稚園については、幼児教育サテライトとして活用するが他の土地は使用用途が限定されており、活用方法が見いだせていない。今後の方針は「公共サービス・公共施設の統廃合の基本方針」を策定する中で一定の方向性を明確にする。

問 【役職定年制度について】管理監督職で無くなった職員の業務内容は。

町長 経験、判断力、調整力を活かし主幹の職位に配置している。

問 役職定年制のメリット・デメリットは。

町長 メリットは組織



用地のすべてが借地の「大井町健康福祉センター」

の新陳代謝の促進、デメリットはモチベーション低下等である。

問 上限年齢を引き上げる考えは。

町長 引き上げを行う予定は無い。適切な人員配置と業務分担を行い、質の高い行政サービスの確保に努める。



もろほし 光浩 議員

Q 富士山火山噴火に対する
地域防災計画への反映は

A 令和9年度に改定し、
令和10年度開示

問 降灰や溶岩流に対する避難対策への取り組みは。

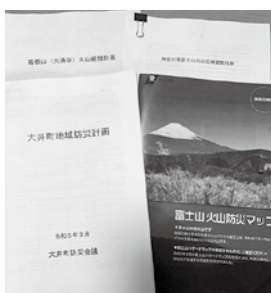
町長 降灰や噴石への対策は、気象庁が発表する降灰予報等を参考に実施することとしている。2cm以上の降灰及び小さな噴石は、屋内避難準備、30cm以上の降灰では、避難準備を呼びかける。また、火山灰が雨に混ざると重量が増し建物への負荷、倒木、電線切断等の危険性があるため不要不急の外出の抑制や屋内退避の重要性について平時から周知していく必要がある。溶岩流への対応は、本町にも到達可能性が示され

たことを重く受け止めている。活動の状況に応じた避難の呼びかけを行う。

問 地域防災計画では避難準備や避難を呼びかけるとあるが、この程度でよいのか。

課長 屋内避難や避難準備等を呼びかけることとしており、この記載のみでは十分な対策が整理されているとは考えていない。溶岩流は流下が始まると広範囲に長期間影響を及ぼす可能性があり、避難先の確保、避難路、交通規制、要配慮者への支援、広域避難など多くの課題を整理する必要があると認識してい

る。



地域防災計画と
火山防災マップ



しげ た ゆ き 重田 有紀 議員

Q 新たな変更による
認定こども園開園時期は

A 開園時期を1年延長し、
令和12年度とする

問 幼児期の生活環境の継続性は子どもの成長、発達に重要な要素では。

課長 重要なことと認識している。

問 在園児が現園舎で生活し卒園することの意義は。

課長 園児及びご家族の安心につながる。

問 現年少児が年長進級時に転園する影響は。

課長 不安や緊張等が生じると想定している。

問 転園を伴う開園時期の判断が、子どもの最善の利益だとする根拠は。

課長 子どもの最善の利益が現園舎で卒園することだけとは捉えて

いない。

問 転園ありきでなく全園児を卒園させてから着工する選択肢の検討は。

課長 老朽化、待機児童問題の早期解消のため現在のスケジュールとした。

問 こども園設立までの待機児童対策のない空白時期の対応は。

課長 今後検討する。

問 全園児が現園舎で卒園できるよう再検討を行うべきでは。

課長 現時点では考えていない。

問 影響を受ける保護者が納得し、十分な合意形成が図られたか。

課長 説明会等開催し



すず き たけ お 鈴木 武夫 議員

Q 公共サービス・公共施設の
統廃合はしないのか

A 基本方針を決めて
計画を改定していく

問 持続可能な行政サービスを確保するため、公共サービス・公共施設の統廃合計画の進捗状況は。

町長 公共施設等総合管理計画及び公共施設等個別施設計画は、今後検討会議で基本データの整理をし、基本方針を決めていく。改定は5年ごとなので、次の改定までに目標達成したい。

問 町が所有している空地の現状は。

町長 大縄住宅跡地、最終処分地、根岸上、河原に空地があるが、どう活用するか決めている。

問 (仮称)新湘光公園を活用するため、新

園を活用するため、新たな施設を整備する考えは。

町長 方向性は決定していない。

問 町の総合計画には既存施設の統廃合について具体的な計画がない。公共施設の統廃合は検討しないのか。

町長 総合計画には表記はないが、今後既存施設の統廃合について検討していく。

町長 町は多機能・多世代交流施設を検討しているが、既存施設の統廃合計画が先ではないか。

町長 既存施設の統廃合に向け方針案を取りまとめ、多機能・多世



認定こども園に移行予定の大井保育園

問 ヤングケアラーの町長 現状は。町長 少数だが把握している。

問 ヤングケアラーに町長 町の支援と対策は。町長 早期に発見し対応していく。

議場体験ツアー開催

柳自治会の皆様、相和小学校の児童が参加



4月15日、柳自治会
皆様が自治会行事の一
環として大井町議会の
議場体験ツアーに参加
されました。

はじめに会議室にて、
日頃の議員の業務内容
についてご紹介し、そ
の後、実際に議場を見
学していただきました。
普段なじみのない議場
では、見学者の皆さん
が興味津々の様子で議
員席や議長席に腰を掛
けて談笑されたりする
姿が見られ、私たち議
員も有意義な時間を共
に過ごすことができました。

その後の質問コー
ナーでは、鋭い質問が
飛び交い、一時は思わ
ず息をのむ場面もあり
ましたが、最後には「来
てよかった」とのお言
葉をいただき、ご案内
した私たちもほっと胸
をなでおろしました。

また、5月27日には、
相和小学校3年生児童
9名も議場体験ツアー
に参加してくれました。
広聴分科会では、不定
期にこのようなイベン
トを開催しております。
ご興味のある方は、ぜ
ひ当議会までお問い合
わせください。

黒石陣太郎



ぎかい Cafe を 開催しました

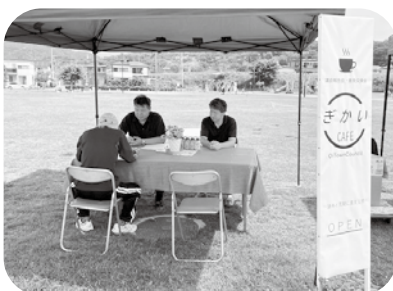


広報広聴常任委員
会・広聴分科会は、議
員が町民の皆様と直接
言葉を交わし、日頃感
じておられるご意見な
ど、生の声を伺うため
に、6月13日の午前9
時から大井中央公園で
ぎかいCafeを開催
しました。

当日は、大井中央公
園において、新鮮な地
元の農産物が並ぶ「大
井やさいの市」がにぎ
やかに開かれており、
会場には多くの方が来場
されていました。

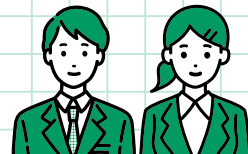
ぎかいCafeはその
すぐ横のスペースに
設営し、広聴分科会の
メンバーが来場された
皆様とアットホームな
雰囲気の中で意見交換
を行いました。来場さ
れた皆様からは、普段
の生活の中で感じてい
る疑問や、「もっとこう
なったらいいの」とい
ったまちづくりに関

するご意見、日々の暮
らしに密着したお声な
どさまざまなお話を伺
うことができました。
今後皆様からの声
がたくさん聞けるよう
取り組んでまいります。
諸星光浩



議会を傍聴して

新採用職員9名が職員研修の一環として第2回定例会を傍聴しました。
ここでは、紙面の都合により令和8年4月1日採用職員の感想を掲載します。
傍聴の機会を通じて、地方自治への理解が深まることに期待します。



政策経営課 森本 愛望

議会を傍聴して感じたことは、非常に緊張感があり、議会に出席している方々の大井町に対する熱意が傍聴席にまで伝わってきたことです。

私は入庁して期間が短く、大井町が抱える問題や取り組みについて詳しく知りません。しかし、一つの質問が他の課に跨っており、所属課以外での取り組みを知ることができ、新たな学びとなりました。本傍聴で得た学びを今後の業務に活かしていきたいです。

防災安全課 杉田 大翔

初めて議会傍聴を経験させていただきましたが、町政に関する様々な課題について活発な議論が行われていることを実感しました。また、防災、福祉、子育て、地域活性化など住民の生活を支えるために多岐にわたる施策が実施されていることを知り、行政が担う役割の幅広さを改めて認識することができました。今回の傍聴で得た知識や気づきを今後の業務に活かし、より良い行政サービスの提供に努めてまいりたいと思います。

健康福祉課 手塚 歩美

新採用職員研修の一環として、第2回定例会を傍聴させていただきました。私にとって初めての議会傍聴で、大変貴重な経験となりました。一般質問では、住民の方を代表する議員の方々の質問に対して、課長達が真摯に答える姿が印象的でした。また、質問の内容から議員の方々の町への思いを知ることができました。

議会傍聴を通じて、住民目線で町を見る視点の重要性を実感できました。この経験を活かし、住民の方のニーズを考え誠実に対応することを心掛けていきたいです。

健康福祉課 猿賀 心希

今回の議会傍聴では、議会に出席されているすべての方が町の課題解決に向けて真摯に議論する姿勢を直接見ることができ、大変貴重な経験となりました。特に一般質問で取り上げられた孤立対策については、保健師として業務に携わる立場から強く関心を持って傍聴しました。地域における孤立は健康や生活にも大きく影響する課題であり、多角的な視点から支援を考える重要性を改めて感じました。

今後は議会での議論を踏まえ、町民一人ひとりに寄り添った支援ができるよう業務に努めてまいります。

こども応援課 北澤 里玖

新採用職員研修の一環として、大井町議会第2回定例会を傍聴させていただきました。

特に印象に残っている質問は、町政運営の総括と今後の町政に対する考え方についてです。答弁のなかで、「持続可能」という言葉が多く使用されていました。日々の業務においても、現在だけではなく、将来のことにも目を向けていくことが重要であると感じました。

今回の研修で学んだことを心にとめ、職務に励んでいきたいと思っています。

生活環境課 剣持 シュウ

「協働」のまちづくりが体现されている印象を受けました。町の取り組みについて、議員の方からの質問に対し、町長や教育長が答弁を行い、再質問の回答を主に各課長が行う様子を傍聴しました。その様子は、まるで一隻の船のようで、質問に対して真摯に向き合っているのだと感じました。

議会傍聴を通して、自分もその船に乗る乗組員の一人なのだと感じました。だからこそ、自身も組織に関わる一人であることを理解し、大井町をより良いものにできるよう努めてまいります。

都市整備課 高橋 那音

町の定例会を傍聴し、会場の落ち着いた雰囲気が印象に残りました。

最初は堅苦しいイメージがありましたが、実際は静かな中にも真剣さが感じられ、議員の方々が町のために熱心に話し合っていました。発言する人の話をしっかり聞き、お互いの意見を尊重しながら議論している様子から、町政を支える大切な場であることを実感しました。

今回の経験を通して、地域のことにもっと関心を持ちたいと思いました。

生涯学習課 吉田 衣里

大井町議会第二回定例会を傍聴させていただきました。

議会の傍聴は初めてでしたが、町民の声を受け取った議員の方が、質問することで、取り組んでいかなければならないこと等が見えてきて、大井町をより良い町にするための場なのだとことをとても強く感じました。

今回の議会傍聴を通じて、また、新たなことを学べたので、この経験を胸により一層業務に励んでまいります。

町のこの人あの人

困っている人がいる限り、続けていきたい



上大井地区
やまざき ももこ さん
山崎

「おむすびの会」代表の山崎もも子さんを紹介します。

●大井町に住んで15年、5人のお子さんを子育て中のお母さんです。2021年8月から、生活困窮家庭に対して毎月食料を配布する「おむすびの会」を立ち上げ、代表を務めています。現在は約40家庭が会に登録しています。

食料はフードバンクや民間企業等からの寄付で集めており、時には古着や生活用品も提供します。町内外の農家さんから、野菜など

の提供もあります。

「大変な時もあるけれど、助かっていますと言われるとやりがいを感じます。食料をもらっていた人が、もう大丈夫と会を卒業されていく時は本当に嬉しいですね」と笑顔で答えられました。

●今年6月から保健福祉センターの「としびショップゆう」にて、フードドライブを開始しました。空き箱を常設し、家庭で不要になった食品をいつでも寄付できる仕組みです。「環境展で取り組んだ際に予想以上に集まっ

たので、日常的に取り組みたいと思いました。町の支援もあり実現して感謝しています」とおっしゃっていました。食品ロスの削減に貢献し、集まった物は会で配布します。

最後に、子育てしながら活動を続ける元気の秘訣を聞きました。「夫が家事・育児を率先してやってくれて、子どもたちと一緒に会の手伝いもしてくれま



捨てずに寄付しませんか

議会だよりへの意見募集

大井町議会では、町政及び議会の情報の皆様にお伝えするため、「議会だより」を年4回発行しております。より分かりやすい広報誌となるよう、町民の皆様の声をお聞かせください。応募は、電子メール (gikai@town.oi.kanagawa.jp)、郵送、持参、FAXのいずれかでお願いします。様式は任意で結構です。

町政を知る良い機会です
議会傍聴にお越しください！

第3回定例会開催

9月11日(金) 午前9時

問合せ先：議会事務局

☎85-5000 FAX83-3936

編集後記

無事に6月定例会を終え、台風や地震等自然災害が心配される時期を迎えています。今定例会では災害対応を問う質問が多く見られ、委員会でも防災について調査研究が行われています。町民の命を守るための提案を、議会としても積極的に発信していく必要性を更に強く感じています。

ざいかいCafeでは、町民のみなさんと気軽にお話する取組みが進んでいます。防災対策をはじめ、ご要望等ありましたらお聞かせください。議会だよりや映像配信をご覧になった感想も、随時お寄せいただきたいと思います。

大石 舞

広報広聴常任委員会

(広報分科会)

委員長 鈴木 磯美

副委員長 大石 舞

委員 岡田 幸二

委員 山崎 真弘

委員 和田 紀昭

委員 重田 有紀

委員 笠井 裕太